

エイブル祭りオープニングセレモニーにて偉人マンガ出版記念講演会を実施



令和4年度「第20回エイブル祭り」のオープニングセレモニーにおいて『マンガふるさとの偉人 田澤義鋪～鹿島が生んだ現代日本の設計者』(右写真▶全127P)の出版記念講演会を開催しました。

基調講演「新たな視点から描く田澤義鋪」を本財団の高橋学芸員が行いました。これは田澤義鋪の日記をもとにした新たな実像に迫るもので、大変好評でした。

出版記念講演会は、「偉人マンガ『田澤義鋪』制作の舞台裏」というテーマで、執筆された神戸女学院大学河島真教授、シナリオライター藤井元氏、漫画家やまのやかし氏の3人で話してもらい、コーディネーターとして執筆者の高橋学芸員も参加しました。

それぞれの立場での苦労話やどうしたら子どもに手に取ってもらえるかなど、その立場にならないと分からないようなことなどを話してもらい、客席からの質問も出て大変興味深く、おおいに盛り上がりました。

そして、この講演会に参加して下さった皆さまには、無料でこの偉人マンガを差し上げ、啓発活動につなげました。さらに今後の小中学校や高等学校への啓発活動・出前授業に活用していくこともお知らせしました。実際に鹿島小学校での授業実践は、佐賀新聞に取り上げてもらい、さらに日本青年館の機関誌『田澤会通信』にも取り上げてもらいました。



左から河島、藤井、やまの各氏

令和4年度青年団活動について

鹿島市連合青年団 団長 竹下宏紀



感染症の影響で思うように活動が出来ない中、私たち「鹿島市連合青年団」は昨年末に3年ぶりとなる「サンタの幸せ宅配便」(◀左写真)を行うことが出来ました。

久しぶりに見る子どもたちの笑顔や、新しく加わっていただいたボランティアの方々の楽しそうな姿に、改めて活動の素晴らしさを感じました。

4月にはリモートですが定期大会を行い、今年度は改めて青年団のあり方を考える年とすることを決意しました。再開され始めた地域イベント等への参加も徐々に増やしていく予定です。

現在は初夏から秋に開催される市内イベントへ、ボランティアスタッフとして参加する予定です。お祭りにおいては子どもたちが射的やヨーヨー釣りなど、昔からの遊びを体験出来る「こども広場」の運営を企画しています。

感染症対策が緩和され、日常が戻りつつある本年度においては、数年ぶりに自分たち中心の企画も動き出せたらと思います。

明治神宮外苑再開発事業に係る樹木の保存に関する要望書を提出

現在、明治神宮外苑再開発事業が進められていますが、明治神宮内苑・外苑には田澤先生と全国青年団の勤労奉仕活動によって出来上がった100年の杜があります。緑豊かな景観を誇る明治神宮外苑は、都内の中でもひとときを憩いの場として多くの人々に愛されており、これは、まさに国民の財産であり宝物です。

今、外苑の杜の伐採が計画されており、そのことに対して田澤義鋪記念館は、令和5年4月2日に以下の三者(敬称略)宛てに要望書を提出させていただきました。三井不動産(株)代表取締役社長 植田 俊、宗教法人明治神宮 宮司 九条 道成、同責任役員 収益部門統括担当 明治神宮外苑苑長 石井 拓哉。右はその要望書の要約です。



▲創建当時の明治神宮の鳥居

田澤先生が明治神宮造営局総務課長の時に呼びかけた、1都3府43県の青年団から、延べ11万人が、4年間にわたり明治神宮内苑のみならず、外苑の造営工事に携わっております。そして、その功績に対し当時の皇太子殿下(昭和天皇)より令旨を賜ったと聞いております。

明治神宮が完成した時には、正式に青年団の代表による参拝が許され、全国の300万に及ぶ青年団らは、田澤先生の参拝と同時に明治神宮の方向を向いて頭を下げ、皆涙したと聞き及んでおります。

全国の青年団による勤労奉仕によって出来上がった明治神宮の内苑・外苑の森は、全国各地の青年団が造ったと言って過言ではありません。これは、まさに国民の財産であり宝物です。その100年を経た樹木(=宝物)を伐採することなく、保全をしていただくようお願い申し上げます。

無縫 No.82

田澤義鋪記念館のこれから

(一財)鹿島市民立生涯学習・文化振興財団 理事長 白川 幸一郎



皆様のご寄付により【無縫】が2年ぶりに復活しました。私は鹿島青年会議所時代に、当時田澤記念館館長の故平野重徳さんから田澤先生の話は何度も拝聴し、まちづくりに携わる心構えを学びました。

30年を経て田澤記念館の受け入れを打診された時に、当財団高橋(鹿島市民図書館)学芸員の田澤研究者としての存在もあり、当財団で受け入れる必要性和必然性を感じました。

昨年日本青年館100周年の記念式典に参加した際に、秋篠宮皇嗣殿下のご挨拶で、明治神宮の森造成に携わった青年団の偉業を称えるお言葉がありました。

現在も『田澤義鋪記念会』という全国組織があり、全国の青年団OBメンバーで青年団活動の支援を行っています。

当財団では田澤記念館の事業を引継ぎ、子どもたちへの出前授業や、新社会人に対してふるさと教育を含めた社会教育講座『ユースカレッジ』を行っています。私の事業所も3人派遣しましたが、参加した受講者はひと回り成長するといわれていますので、ぜひ人材教育にご利用下さい。

財団とは別に『田澤義鋪研究会』という自主勉強会を立ち上げ、先生の偉業を後世に伝える「語り部」の育成も行っています。先月は先生の論文『道の国日本の完成』を輪読しました。そこで感じるのは、田澤先生の政治教育を基本とする教養は今こそ必要だということです。今後も故平野さんや旧田澤記念館の役員会員の皆さんが努力されてきた、鹿島の「宝」を今・後世につなげる活動を、継続してゆきたいと考えています。

フロックコート姿の田澤義鋪▶



リスタート！田澤義鋪記念館

田澤義鋪記念館 館長 永池 守

(一財)鹿島市民立生涯学習・文化振興財団と(一財)田澤記念館は、鹿島市の仲介により令和3年12月18日(土)合併契約調印式を行い、令和4年4月1日付けで鹿島市民立生涯学習・文化振興財団が『田澤記念館』の運営を引継ぎ、新しく『田澤義鋪記念館』としてリスタートしました。

活動内容的には、①ユースカレッジ、②出前授業、③偉人マンガの活用の3本に絞り込みました。

①「ユースカレッジ」(2P参照)は、今後さらに充実発展させるように取り組むことにしています。

②『郷土の光 田澤義鋪』(2P参照)を使った出前授業。

③ 偉人マンガ『マンガふるさとの偉人 田澤義鋪～鹿島が生んだ現代日本の設計者～』(2、4P参照)は、市内の各小学校・中学校・高等学校にて、マンガをもとにした活用事業を展開中です。青年団活動(4P参照)もこれまで通り継続しています。



当財団は、これまでも鹿島市から指定管理を受託しており、地域に根ざした生涯学習・社会教育を推進するなかで、エイブル倶楽部(生涯学習を行う会員制の組織)や図書館事業において、田澤精神の紹介、学びと継承を行ってきました。

『鹿島市明治維新150年記念事業』においては、鹿島市より当財団へ田澤義鋪の顕彰事業を委託され、取り組みました。

そこでは、『日記が語る田澤義鋪の実像』(◀写真左)や『田澤義鋪～今につながる政治教育の源流～』(◀写真右)を刊行し、さらに令和4年にはB&G財団の助成を受け『マンガふるさとの偉人 田澤義鋪～鹿島が生んだ現代日本の設計者』(2、4P参照)を発行し活用事業を展開しています。

ユースカレッジの継承

「ユースカレッジ」は、田澤義鋪が静岡県安倍郡の郡長時代の青年教育を受け継いだもので、鹿島市内で新社会人として働き始めた若者に対して、田澤精神を学び、鹿島市の歴史と文化・経済を知る場として毎月1回のペースで取り組んできました。

これまでに30期のカレッジ生が巣立っています。令和4年度新しくスタートした『田澤義鋪記念館』でもこの事業に取り組み、充実発展させています。これまでの事業内容に加え、新しい課題のDXやまちづくりなど今日的テーマや、一緒に「汗流鍛錬」の体験なども取り入れ、仲間作りも行っています。

令和4年度の閉講式では理事長のあいさつを受け、ユースカレッジ生の代表があいさつを行い、全員に修了証書を手渡しました。最後に、全員が一言感想を2分間スピーチでしてくれました。

今年度も募集をして20人を超える応募があり、6月21日からスタートしています。今後も主な活動として継続して取り組んでまいります。

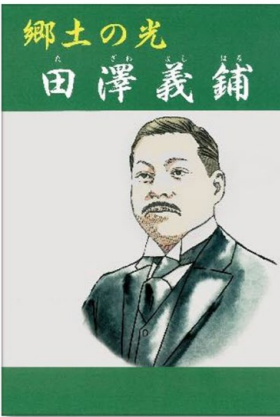


第30期生ユースカレッジ生

【2分間スピーチから】

- 鹿島にこんなに素晴らしい会社があったのか、世界で勝負している企業があるのには驚いた。
- 東亜工機のシリンダーライナーの日本一のシェアや日本一の森鉄工の油圧式フィンランピングプレスなど凄い。
- 鹿島市内には、知らなかった歴史や多くの文化が根付いていることに驚いた。このことをみんなに知ってもらうように広めたい。
- 田澤先生の「汗流鍛錬」の実践として登山があった。きつくて登りたくなかったけど、仲間と一緒に、そして登山ガイドの方の安全対策のお陰で無事に登り切った。そしたら、頂上で一気に疲れが吹き飛び、達成感を味わった。みんなと登った経験は絶対に忘れない。最後に自然の館「ひらたに」で、みんなで食べたシシ汁が最高に美味しかった。

出前授業など対外活動



郷土の光
田澤義鋪

『郷土の光 田澤義鋪』（◀左写真）を使っての出前授業は、安永秀樹 前々館長が始められたもので、鹿島市だけでなく嬉野市、太良町の小学校5、6年生を対象で行っています。この冊子には田澤の思想と業績が簡潔に示されており、短時間で取り組みやすい内容になっています。

田澤精神の「一事実行」の取り組みや「平凡道を非凡に歩め」などの実践化へつなげる学習として取り組んでいます。

「やること自体は必ずしも派手でなくていい。他人と同じ道を歩みながらも、他人の何倍も努力して続けて行けば遂には大きな成果を為す。そして同時に人格も修養されていく。」という精神を学び、生活への実践化を目標にしています。

田澤義鋪の母校の鹿島小学校では、ふるさと学習として、6年生が全校生徒や保護者の前で発表会を行い、好評を得ています。



鹿島小学校6年生の発表会

偉人マンガ『マンガふるさとの偉人 田澤義鋪』の利活用

令和3年度、新たに偉人マンガ『マンガふるさとの偉人 田澤義鋪～鹿島が生んだ現代日本の設計者～』を作成しました。これは公益財団法人B&G財団と、鹿島市の助成を受けて、エイブルの事業として（田澤記念館との合併以前に）行ったものです。

令和4年度の「エイブル祭り」で出版記念講演会（4P参照）を行い、市内各小学校・中学校・高等学校に配布しました。

その後各学校にてマンガをもとにした利活用事業を開始、永池守館長が各学校に出向いて、田澤義鋪について学ぶ授業を行いました。



▲能古見小学校6年生



▲西部中学校1年生

【6年生学習後の感想例】

- 自分が高校生になったら、選挙にきちんと行きたいです。田澤義鋪の話をして下さってありがとうございました。「お互いに理解し合おう」先生から言われなくても、自分たちで頑張ろうと思いました。
- 今、政治を社会科で習っています。けど、すこし政治のわからないことが分かりました。選挙に行くときは、田澤義鋪さんみたいにできるように頑張りたいです。

令和4年度 田澤義鋪記念館 収支報告

(収 入)

一般財団法人 鹿島市民立生涯学習・文化振興財団

費 目	決算額	内 訳
(一財) 田澤記念館からの繰越金	313,754	
2 鹿島市交付金	1,500,000	田澤義鋪顕彰事業等活性化交付金
3 鹿島市指定寄付	2,150,000	鹿島市八田澤義鋪記念館宛の指定寄付 4件
5 貸館収入	596,620	
6 図書販売収入	2,100	3冊
7 受取利息	12	
8 雑収入	21,400	支援金箱(6,100円)、駐車場料、コピー、電柱敷地料
9 受取会費	716,000	特別会費38件、賛助会員(団体)6件、賛助会員(個人)5件
計	5,299,886	

(支 出)

費 目	決算額	内 訳
一般経常	1,957,069	
1 諸謝金	90,000	ユースカレッジ講師、出前授業講師
2 旅費交通費	1,500	ユースカレッジ
3 需用費	900,544	
① 消耗品費	198,252	文具、看板作成、館内外整備用品 他
③ 食糧費	13,910	ユースカレッジ
④ 印刷製本費	0	
⑤ 光熱水料費	291,000	電気、水道
⑥ 修繕費	397,382	浴槽場プラグ及び止水、駐車場案内看板取替 他
4 役務費	108,734	
① 通信運搬費	54,956	郵送料、電話、ネット回線
② 保険料	49,336	火災保険、ユースカレッジ登山保険
③ 雑費	4,442	振込手数料 他
5 委託料	571,155	清掃、浄化槽、不動産登記料 他
6 賃借料	31,986	コピー機カウンター料、ユースカレッジ会場使用料
8 備品購入費	148,000	パソコン
9 支払負担金	67,000	日本青年館年会費、城内区費、ユースカレッジ植樹
13 交際費	38,150	ユースカレッジ手土産・お賽銭 日本青年館財団設立100周年記念事業参加費、祝儀(2件)
給 与	1,157,742	
15 給 料	1,137,970	パート1名
16 職員手当等	5,227	
③ 時間外手当	5,227	パート1名
17 共済費	6,065	
④ 労働保険	6,065	雇用保険、労災保険
18 賃金	8,480	前任者引継ぎ時賃金
計	3,114,811	
次年度繰越金	2,185,075	

ご入会・ご寄付のお礼とお願い

館長 永池 守

これまで当記念館の運営は、個人や法人の会員様からの会費、ご寄付、市からの助成金で運営してまいりました。令和4年度の会費・寄付金は下記の通りです。お陰様で令和4年度も有意義な活動を行う事ができました。誠にありがとうございました。

一方記念館施設は、老朽化も進み、修繕費の運用にも苦勞する状態となっています。皆様の貴重なご寄付のご協力を、令和5年度も引き続き、よろしくお願い申し上げます。(お手続きには、同封の振込用紙をご利用ください。)

令和4年度 田澤義鋪記念館 会費・寄付金 総計 37団体 16個人 2,866,000円

会費 内訳

特別会員		
団体	29社	550,000円
個人	9人	110,000円
賛助会員		
団体	6社	30,000円
個人	5人	26,000円

鹿島市指定寄付 内訳

氏名・団体	金額
1 平野 芳憲 様	1,000,000円
2 株式会社 宮園電工 様	1,000,000円
3 天心堂 志田病院 様	100,000円
4 白川 幸一郎 様	50,000円
小 計	2,150,000円

会員区分	金額
特別会員	1口 10,000円
賛助会員	団体 1口 5,000円
	個人 1口 2,000円